



LONGIN

We create in Tokyo Japan since 2011

WEB MAGAZINE Vol.



LONGIN

in Tokyo Japan since 2011

フリーペーパー
ロンジンマガジンVol.5も
釣具店にて絶賛配布中!



レビンライト特集記事はケー
パス釣りに役立つ情報記事
満載! 弊社製品取扱店にて無
料配布しておりますので、足
跡が伸びる限り下さい(配布終
了の際はご容赦下さい)。

絶対エース!
シャロー攻略の

NEW

LEVINLIGHT
レビンライト
95mm 12g 1,600円+税

sinking type pencil bait for salt water

全13色 ※在庫アウトレット品は除く

カッ飛び表層対応のライトモデル!! シャローに特化したレビンが登場!

レビン(ライト)は重量が軽くなったことでフィンキールの水堀み力がさらに強く影響、水を受けて曲れた唇のスタイト幅がよりワイドになることで、レビン(ライト)の中でもいちばん大振りな手を振りながら劇的にアールを減らすのが特徴。幅広いリトリブススピード & 流置の安定化に対応し、強い流れの中や早急な水堀置下→約40cmのフックイン時にレビン(ライト)特有の劇強い泳ぎでシンシローアールを振り回すことが可能です。キヌストした期間の、ランチを引→落とされるキヌストフールは、12gの自重とは思えないほど一切のアールを無く突きのようにカッ飛びます。流置がまず水堀置下をデッドスローに垂てこれるシャローに特化したモデルなので、河口、干瀬、河川、汽水域などのシャロー帯での効果は絶大です!

フランクキーに新色登場!



数量限定の落ちアユを含む6色が新登場!

FRANKY

120mm 20g Floating 1,900円+税



LONGIN

<http://www.longin.jp> ホームページにてWEBマガジン発行中!



魚の居場所を 探りながら釣る ための基礎の基礎



Text by 小堺篤司

フランキーはただ釣るためだけのミノーではない。可変アクションタイプという特性を把握して使えば魚の居場所=釣れるポイントがわかるので、外海、河川ともに強力な武器となる。

フランキーのコンセプトとは？

フランキーはリップ付きミノーでありながら、流れを受けながらも受け流すことのできる絶妙なバランスで、フィールドのわずかな流れの変化を誰でも感じる事のできるフローティングミノーです。

フランキーの潜行深度は水面下から 60cmほどで、スローリトリブではローリング、ミディアムリトリブではタイトウォブンロール、ファーストリトリブでは、ハイアピールワイドウォブンロールと、リトリブスピードや受ける流れの強さによってアクションが変わる可変アクションタイプのミノーです。このフランキーを使って、シーバスに必要な不可欠な流れに対する「小堺流の使い方」を説明します。

フランキーを使った外海攻略

サーフや河口域などの外海は、沖を探る際の潮目やカレント（離岸流）などの流れの変化、プレイクライン（カケアガリ）、根周りなどの地形変化、河川などの流れ込みなど、広大な外海でも様々なポイントがあります。シーバスなどフィッシュイーターたちは、このような流れや地形の変化に絡む場所（地形が変化する場所でも流れは変化する）でベイトを捕食しています。

これらのポイントで、フランキーは即座に流れの変化がある場所を見つけ出すことが可能です。やり方は、着水後に数回“ぐりぐり”とリトリープして水になじませ、あ

とはスローリトリープかデッドスローリトリープで引き、フラフラとローリングアクションをさせていきます。このとき、フランキーの重みをかすかに感じるくらいでリトリープさせ



昼夜関係なく安定の釣果をもたらしてくれるゴールドレインボーが、この秋ついにフランキーの新色として追加される！

ロッドの上げ下げやリトリープスピードによってレンジコントロールできます。



水流の変化やリトリープスピードによって可変アクションが生まれ、シーバスの捕食スイッチを入れバイトを誘発します。



高速巻きでは
超ハイアピール
ワイド系ウォープンロール

ミディアムでは
タイトウォープン
ロールアクション

スローリトリープでは
ふらふらローリング
アクション

るのがよいでしょう。この状態から巻き続けると、フランキーの重みが強く感じたり、軽くウォブリングアクションに変わったり、逆にスーッと抜けるように感じる時があるのですが、そこが流れの変化のある場所なのです。

フランキーはそのような流れの変化があるところで、可変アクションもしくは不規則にアクションして喰わせの間を作り、ヒットに持ち込んでくれます。同時に、そういった変化のある場所、すなわち釣れるポイントを簡単に探れるルアーでもあるのです。

文章で読むと難しく感じるかもしれませんが、基本は『投げて巻く！』。それだけであとはフランキーに任せてもらえれば大丈夫ですよ。

フランキーを使った河川攻略

シーバスは、ベイトフィッシュを求めて河川にも入り込んできます。淡水魚はもちろん、汽水域に生息するボラ・ハゼ・サヨリなども上ってくるので、河川内はシーバスには恰好の餌場となります。それらの中で、シーバスが特に好んで捕食しているベイトと言えば、春から初夏に遡上し、秋に一生を終える『鮎』でしょう。

鮎を求めて、シーバスは河川をどんどん上っていきます。その鮎に着くシーバスに対して私がメインで使うのはフランキーです。河川ではナチュラルドリフト、U字ドリフトと呼ばれるドリフト釣法をメインにしています。

ドリフトの方法はクロス・ダウン・アップの3種類があります。これに

ついては、次ページのイラストで詳しく解説していますので、そちらを先に読んでみて下さい。

この一連の動作の中で、流れの変化、ストラクチャーなどのポイントへフランキーを流し込んでバイトを得るために、自分の中で意識してやっ



秋の落ち鮎パターンに効くのが、フランキーの落ちアユカラー。今年も秋に数量限定で発売されるのでチェック！

【クロスストリームドリフト】

川の流れに直角にルアーを投げ入れ、流れを受けたラインが先に流されるように、U字を描きながらルアーをターンさせます。

着水後、数回“ぐりぐり”とリトリブさせて水になじませたあと、スローリトリブさせていきます。このときフランキーは、ローリングからタイトオープンロールをしています。U字を描く頂点付近で、流れをルアー側面を受けてフラフラとイレギュラーなアクションをしたあと、ダウンに入ると流れをルアーの正面から受けて、タイトオープンロール、ワイドオープンロールへとアクションは変化していきます。

この一連の動きの中でも、ローリングからオープンロール、オープンロールからローリングへとアクションが可変するところがあります。それは本流筋にある沈み岩などのストラクチャー、本流筋を抜けた淵や深みなどがおこす流れの変化がある場所です。

こういった場所にシーバスはステイして、流れてくるベイトを捕食しているのですが、フランキーは流れの変化で可変アクションした瞬間に喰わせの間を作ってくれるので、このときにヒットしてることが多いです。

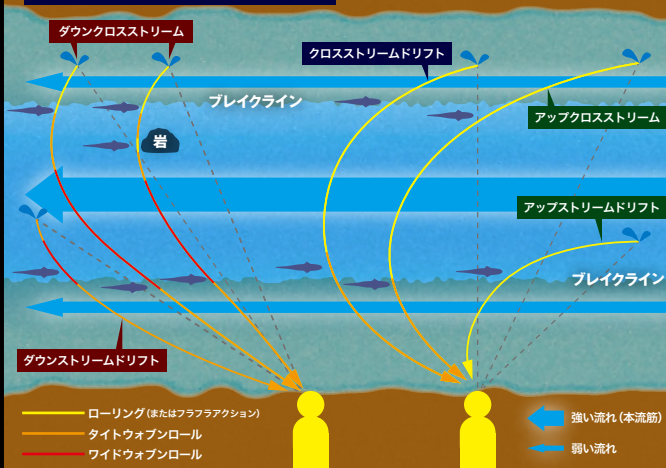
【アップストリームドリフト】

アップストリームドリフトとは、流れの上流側にルアーを入れて流していく釣法です。

アップストリームでは、ルアー着水後、糸フケを取りながら流れと同調、もしくは少し遅くくらいでリトリブさせてルアーを流していきます。これにより、ベイトフィッシュが自然に流される様子を演じさせることができます。

アップとクロスの中間、アップクロスストリーム（アップクロス）と言いますが、自分の立ち位置から斜め上流にルアーを入れる場合は、自分の正面まではアップストリーム、その後ダウンへとルアーが泳いでいきますので、アップの時は糸フケを取りながら同調させ、U字を描くダウンではスローリトリブさせていきます。

フランキーは斜め浮きタイプのフローティングミノーですが、アップでの釣りではその斜め浮きを少し水平にするようなイメージでリトリブすると、フラフラとしながら流せます。アップクロスは、特に秋の落ち鮎の時期に有効です。自然に流されてくるベイトを演じることができる釣法ですので、ぜひ覚えておきましょう。



【ダウンストリームドリフト】

ダウンストリームドリフトとは、文字通り、自分の立ち位置よりも下流側へキャストして、流れをルアーの正面に受けながらドリフトさせる釣法です。

ダウンストリームドリフトでは、ゆるい流れの中はスローリトリブでローリングからタイトオープンロールさせて流れを横切らせます。

流速のある激流河川の場合は、ダウンにフランキーを入れたあとは、ロッドを立て気味にしたままリトリブせずに流れの中を流すのみです。このときのフランキーはオープンロールからワイド系オープンロールしています。このプリプリ泳ぐフランキーが流れのヨシ、流れを抜けた瞬間に可変アクションをし、喰わせの間を作ってくれます。

ていることがあります。それは『フランキーの角度』です。

フランキーは流れに敏感なミノーで、流れを受ける面、すなわち正面、側面、後方などで様々な動きをし、可変アクション+不規則なふらつきをします。クロス、アップクロスでドリフトさせるときに、大きくゆったりしたU字にしたり、鋭角なU字にしてルアーの角度を変えて流し込んでいます。ダウンストリームも同様に、ロッドの角度などでフランキーの角度を変えて、その日のヒットパターンを探すとより釣果に繋がります。

「小堀流」のカラーローテーション

フランキーのベイトパターン（鮎、ボラ、サヨリなど）でのカラーローテーションを解説します。

●外海でのカラーローテーション

まずはナイトゲームでの外海。広大なフィールドでは、レッドヘッドやチャートパールといった、いわゆるアピール系から使い、回遊性の高いシーバスにアピールします。ここから光量（月や常夜灯）水質を見ながらホログラム系へと、ローテーションしていきます。

光量が少ないまたは無い状態（闇夜）、濁りがある場合は、視認性の高いシャインホロへ。光が多くクリアウォーターなら、レンズホロからメッキホロへとローテーションするのが私のパターンです。

流れがわかればシーバスはもっと釣れるようになる。フランキーを投げて、流れを手で体感してみたい。



●河川でのカラーローテーション

河川内では特にカラーローテーションが大事になります。水深が浅くシャローも多い河川は、シーバスにとってはベイトを捕食しやすく恰好な餌場です。しかし、その分スレるのも早く、プレッシャーもかかりやすいポイントなので、状況に応じてローテーションさせましょう。

●水量や水質に応じたカラーローテーション

河川増水時のシーバスは、流れの中、流れのヨレなど、いたるところでボイルして活性も高い状態です。こんなときはデイ・ナイト問わず、迷わずチャートなどのアピールカラーから使用しています。魚にプレッシャーがかかってきた……と感じたら、シャインホロ、レンズホロ、メッキホロとローテーションしていきます。

その逆の河川減水時には、濁りも取れシーバスたちはストラクチャーなどのピンに着くようになります。このときはデイ・ナイト問わず、ホログラム系から投げるのがよいでしょう。光の反射で喰わずののですが、シャインホロ、レンズホロ、メッキホロで反応が違うときが多いので、ホログラムの種類をローテーションしてみても効果的です。まれに、反射の光を嫌がるシーバスもいるので、そんなときは水に馴染むクリア系やパール系を入れてみても面白いです。

●ポイントを攻める場合のカラーローテーション

瀬尻やブレイクラインなどの下流にできる深みを探る時は、ベリー部（腹



使い方が難しいと思われがちなワランキーだが、使いどころさえ押さえれば簡単に使いこなすことができる。秋のランカー対策にも使用して頂きたい。

部)の色をオレンジベリー、レッドベリー、クリアラメベリー、グローベリーといったようにローテーションすることもあります。その理由は、アップストリームまたは、アップクロスからフランキーを深みに流し込み、アクションしないくらいで水面または水面下を漂わせるときに、ベリーの色でアピールさせられるからです。これは特に落ち鮎時に有効だと私は考えています。

好みのルアーカラーはシーバスに聞いてみないとわかりませんが、アングラ側から考えるカラーローテーションは十人十色だと思います。「小堺流」フランキーのカラーローテーションは、その中のひとつとだけ思えば幸いです。

フランキーは投げて巻くだけで釣れるフローティングミノーです。フランキーで探って反応が無ければ、レビンやキックビートで探って、シーバスゲームをより楽しんでいただければと思います。

この秋、フランキーに新色&初回限定色が登場!



024: ボラ (レンズホロ)、025: レンズキャンディー (銀粉ラメ)、032: ブラックキャンディー (マグマ)、043: ゴールドレインボーオレンジベリー (メッキ)、026: 金ボラ (メッキ)、027: チャートゴールドグローキャンディー (マグマ)、067: ピンクヘッドパールキャンディー、064: マットチャートヘッド (クリアマグマ)、029: チャートパールオレンジ、041: クリアパープルラメ (クリアマグマ)、065: ドチャートマット、009: レッドヘッド (銀粉パール)、046: 落ち鮎グローベリー銀粉ラメ (縦ホロ) ※ 046 は初回限定生産



小堺篤司 (こざかい・あつし)

LONGIN.フィールドスタッフ。河川や港湾、サーフをホームとし、ウェーディングスタイルを中心に高い釣果を誇るアングラ。関東圏外唯一のフィールドスタッフとして活躍中。

LONGIN. が贈るフリーペーパー

ロンジンマガジン Vol.5

弊社製品取扱店にて好評配布中!



秋の特別発行となったロンジンマガジンは今号で第5号! (特別発行号なので、前号よりは本の厚みが薄めです)

新製品レビンライトの巻頭解説記事に加え、秋のハイシーズン前に読みたいバイブレーションの使い方記事2本、魚の居場所を探りながら釣るための基礎知識記事を収録した保存版!

本は薄くなったけど中身はアツい今号も、もちろん無料配布! 弊社ルアー取扱店全店に順次発送していますので、店頭になかった場合は店員さんに聞いてみて下さい! (弊社在庫があれば、お店へ送らせていただきます)。

ロンジンマガジンのご意見・ご感想もお待ちしております (HP アンケートよりお送り下さい)。

ロンジンマガジン Vol.5

配布価格: ¥0 (フリーペーパー)

版型: A5 版 24 ページオールカラー

発行: 株式会社 LONGIN.

LONGIN. 製品取扱店にて無料配布中
(数に限りがありますので、品切れによる配布終了の際はご容赦下さい)



LONGIN

WE STRIVE TO Tokyo JAPAN since 2011

WEB MAGAZINE Vol.21

発行日：2015年10月26日

株式会社 LONGIN.